

## 済生会松阪総合病院を受診された患者様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	当院における腔式子宮全摘術（TVH）の現状
当院の研究責任者	高倉 哲司
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	1990年10月から2019年12月までの約30年間に施行した腔式子宮全摘術の手術時間、出血量、標本重量、合併症について検討する。
調査データ 該当期間	1990年10月から2019年12月まで
研究の方法 (使用する資料等)	子宮筋腫、子宮腺筋症、子宮頸部異形成、子宮脱など症例、1314例について合併症の有無、頻度を、また2010年1月から2019年12月までの子宮筋腫、子宮腺筋症の症例、217例について手術時間、出血量、標本重量について検討した。また手術術式の概説も行った。
試料・情報の 他の医療機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	個人情報を特定するものはなし
本研究に係る資金 (利益相反)	なし
お問合せ先	高倉哲司